

各 位

静岡大学大学院情報学研究科

本研究科の学生募集要項については、次頁以降に掲載しておりますが、実際の出願にあたっては下記の請求方法により、学生募集要項を入手し、所定の様式により出願をお願いします。

## 記

学生募集要項の請求方法について

(1) 窓口で請求する場合

学生募集要項は情報学部学務係で配付しています。

(2) 郵送にて請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「**大学院情報学研究科第二次募集要項請求**」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して情報学部学務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学からの募集要項送付用封筒）

- ・規格 角形 2号封筒（240mm×332mm）
- ・請求者の郵便番号、住所、氏名を明記
- ・240円分の切手を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

(3) 担当窓口及び請求先

〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1

静岡大学情報学部学務係

電話（053）478-1510

平成26年度

静岡大学大学院

情報学研究科修士課程

学 生 募 集 要 項

〔一般入試第二次募集〕



静岡大学

# 目 次

静岡大学のビジョン	1
静岡大学の使命	1
情報学研究科のアドミッション・ポリシー	1
3プログラムの教育目標	2
I 入試日程	3
II 一般入試募集要項	4
III 研究指導教員等一覧表	8
IV 大学院入試情報の提供	12
V 個人情報の取り扱い	12
VI 障害等のある入学志願者の受験特別措置について	12
VII その他の注意事項	13

## 学生募集要項の請求

学生募集要項・大学院案内等を請求する場合は、角形2号（24.0cm×33.2cm）の返信用封筒（請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、390円切手を貼ったもの）を同封して下記に請求してください。なお、請求時に封筒の表に「情報学研究科修士課程募集要項請求」と朱書きしてください。

記

静岡大学情報学部学務係

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北三丁目5-1 電話：053-478-1510

## 静岡大学情報学部への道順

JR東海 浜松駅 北口バスターミナル15・16番乗り場から40～49路線のバスに乗車

「静岡大学」下車（所要時間約20分）

# 静岡大学のビジョン

## 「自由啓発・未来創成」

静岡大学は「質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学」を目指します。

(詳しくは [http://www.shizuoka.ac.jp/rinen/vision\\_policy.pdf](http://www.shizuoka.ac.jp/rinen/vision_policy.pdf) をご参照ください。)

## 静岡大学の使命

**教 育**：地球の未来に責任をもち、国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れな  
いチャレンジ精神にあふれ、豊かな人間性を有する教養人を育成します。

**研 究**：世界の平和と人類の幸福を根底から支える諸科学を目指し、創造性あふれる学術  
研究を行います。

**社会連携**：地域社会とともに歩み、社会が直面する諸問題に真剣に取り組み、文化と科学の  
発信基地として、社会に貢献します。

## 情報学研究科のアドミッション・ポリシー

### 1. 育てる人間像

本研究科は、情報技術と人間・社会の統合的な発展、及び新たな情報文化の創造を目標に、日々変化する情報技術と情報社会について豊かな専門的知識と問題解決能力を備えた、望ましい情報社会の構築に貢献しうる高度専門職業人の育成を目指します。

### 2. 目指す教育

情報科学と情報社会学とが連携・融合した情報学の教育・研究とともに、それぞれに体系的な専門教育を実現するため、3プログラム制（計算機科学、情報システム、情報社会デザイン）を導入しています。

### 3. 入学を期待する学生像

今日の社会の高度情報化に関心をもち、情報科学と情報社会学を連携・融合させる観点から人間と情報技術が調和した情報社会の構築に積極的に貢献する強い意欲、及びそれを裏付ける豊かな専門的知識と技術を備えた人の入学を期待します。

### 4. 入学に必要とされる資質・能力

情報学研究科が行う入学者選抜試験は、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材となるために必要な能力、学力、適性などを受験者が有しているかを判断するために行われます。社会人受験者に対しては、実務経験を通して培った問題意識を基礎として、情報技術と情報社会への複眼的な視野をもつ高度職業人となるために必要な能力、学力、適性を有しているかを判断します。

## 3 プログラムの教育目標

### 計算機科学（以下、CS と記す）

モデル化、抽象化、仮想化など情報科学に関する系統化された高度な知識体系を学び、新しい価値を創造できる人材を育てる。

### 情報システム（以下、IS と記す）

さまざまな社会の組織を多面的に分析し、情報システムの計画、設計、開発、運用、評価、改善ができる人材を育てる。

### 情報社会デザイン（以下、ID と記す）

ガバナンスを基本的なコンセプトとしながら、新しい価値を創造するために、現実社会の問題を発見・分析し、解決策を提言できる人材を育てる。

### 主な授業科目

3 プログラムに共通な授業科目

情報学研究Ⅰ・Ⅱ、情報学演習Ⅰ・Ⅱ（必修）

システム・ネットワーク論、コミュニケーション論、情報資源総論、情報社会セキュリティ論（融合科目群）

Professional Presentations in English、English Thesis Writing（英語系科目群）

言語理論特論、ミュージアムコンテンツ論（プログラム外科目群）

### プログラムごとの授業科目

CS：ソフトウェア工学、アーキテクチャ設計論、データ工学、ネットワークシステム論、情報セキュリティ論、認知科学論、知的インターフェース論、離散情報処理論、計算過程論、音声情報処理論、画像情報処理論、プログラム言語論、計算言語学

IS：ソフトウェア工学、企業情報システム論、情報組織化論、ネットワークシステム論、情報セキュリティ論、デジタルコンテンツ特論、認知科学論、エージェント・シミュレーション論、教育情報システム論、情報システム評価論、情報システム設計論、知的インターフェース論、地理情報科学特論、実践マネジメント特論、ジョブシミュレーション

ID：IT 技術倫理と社会、情報政策特論、コミュニティデザイン特論、企業情報システム論、地理情報科学特論、電子メディア特論、メディアスタディーズ特論、情報組織化論、認知科学論、グローバルコミュニケーション特論、インターンシップ、実践マネジメント特論

## I 入試日程

選抜方式	平成 26 年度 一 般 入 試
募集人員	5 名程度
出願資格審査 (該当者のみ)	平成 26 年 1 月 27 日(月) 申請締切 平成 26 年 1 月 31 日(金) 結果通知
出願期間	平成 26 年 2 月 3 日(月) ～ 2 月 7 日(金)
学力検査等	平成 26 年 2 月 19 日(水) 10:00～ 面接・口頭試問
合格発表	平成 26 年 2 月 21 日(金)
入学時期	平成 26 年 4 月

## Ⅱ 一般入試募集要項

### 1. 一般入試の趣旨

本研究科は、情報科学技術と人間・社会の整合的な発展及び新たな情報文化の創造と同時に、今日の情報社会がその解決を迫られながらも従来の情報科学又は情報社会学からの一面的な取組では解決困難な種々の課題を、両者を融合させた複眼的アプローチによって解決する能力を備えた人材の育成を目指しています。革新し続ける情報科学技術と社会の高度情報化の双方に貢献する豊かな専門的知識と問題解決能力を備え、望ましい情報社会の構築に積極的に貢献し得る高度専門職業人を目指す学生を広く受け入れます。

### 2. 募集人員

情報学専攻 5名程度

### 3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 26 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学位授与・大学評価機構から学士の学位を授与された者及び平成 26 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 26 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 本研究科が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 26 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

**注意：**(8)又は(9)の資格で出願する場合は事前に審査を行い、その適格者に受験を認めます。

### 4. 出願手続

#### (1) 出願期間

平成26年2月3日(月)～2月7日(金) [17時00分必着]

#### (2) 出願方法

封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で下記に郵送するか、情報

学部学務係に直接提出してください。情報学部学務係の受付時間は平日の9:00-12:30と13:30-17:00です。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部学務係

(3) 出願書類等

入学願書（受験票・写真票を含む）	必要事項を記入して、写真を貼ってください。（本学所定用紙）
学業成績証明書及び卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの 本学情報学部卒業生又は卒業見込みの者は不要です。
志望理由並びに研究計画書	(本学所定用紙)
卒業研究又は卒業研究に相当する論文	4部提出してください。
入学検定料：30,000円（振替払込証明書）	検定料30,000円は、同封の「払込取扱票」により郵便局の受付窓口で払い込み、本学所定の用紙に「払込受付証明書」を貼付し、提出願います。
返信用封筒	封筒（長形3号：23.5 cm×12 cm）に郵便番号、住所、氏名を記入して360円切手を貼ってください。
あて名票	合格通知を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。（本学所定用紙）

注意

- (1) 他の大学院在学学生又は官公庁、会社等の在職者は、所属長の承諾書（書式自由）を提出してください。
- (2) 出願資格(2)の「授与される見込み」に該当する場合は、「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」（出身学校長が作成したもので書式自由）を提出してください。なお、学位が得られなくなった場合には、速やかに連絡する旨を記載してください。
- (3) 外国籍の方は、在留カードの写しを提出してください。
- (4) 志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡をとり、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。教員の連絡先については、表紙裏に記載した情報学部学務係にお尋ねください。

5. 出願資格審査

出願資格の(8)又は(9)の資格で出願する場合は、事前に資格審査を行います。次の書類を、平成26年1月27日(月)〔必着〕までに情報学部学務係に提出してください。

(1) 提出書類

出願資格審査申請書	(本学所定様式)
推薦書（任意提出資料）	在籍する大学等が作成したもの（書式自由）
成績証明書	最終出身学校長が作成したもの
シラバスの写し	成績証明書に記載された授業科目の講義内容を記載したもの

(2) 審査方法

書類審査で行います。（書類審査で判定できない場合は、面接審査を実施することがあります。）

(3) 資格審査結果の通知

平成26年1月31日(金)に申請者宛に郵便で発送します。



## 6. 選抜方法

本研究科では、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。そのために必要な能力、学力、適性などを、次の試験で総合的に判断します。

情報学に関する基礎学力、志望するプログラム（CS・IS・ID）に対応する分野の専門的学力を判断します。

面接：

『志望理由並びに研究計画書』を中心に志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。

口頭試問：

『卒業研究または卒業研究に相当する論文』に関する口頭発表、及びそれに関する口頭試問を行います。

選抜は、以下に示す配点に基づいて行います。得点が共に配点の 50%に達しない場合は、合格対象者から除外します。

面接	口頭試問
100	100

## 7. 学力検査等日程

CS、IS、ID ともに、平成 26 年 2 月 19 日（水）10 時から試験を開始します。試験は面接と口頭試問で行います。

## 8. 試験場

静岡大学情報学部 静岡県浜松市中区城北三丁目5-1

試験室等の詳細は受験者に通知します。

## 9. 合格者発表

平成26年2月21日(金) 17時00分（予定）に構内（情報学部玄関）に掲示するとともに、合格者本人に通知します。

## 10. 入学手続き（概要）

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

入学料 282,000円（平成25年度実績額）

授業料 年額 535,800円（半期分：267,900円）（平成25年度実績額）

### 注意

- (1) 前期分の授業料については、平成26年4月1日～同年4月30日の間に納入してください。
- (2) 入学手続き完了者が入学を辞退した場合は、入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- (4) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 11. 入学時期

平成26年4月

## 12. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 納入した検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 入学試験に関する照会は、返信用封筒（80円切手を貼付すること。）を同封して下記に照会してください。

記

静岡大学情報学部学務係 〒432-8011 静岡県浜松市中区城北三丁目5-1 電話：053-478-1510

### Ⅲ 研究指導教員等一覧表

注意：志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡をとり、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。教員の連絡先については、表紙裏に記載した情報学部学務係にお尋ねください。

(\*：平成27年3月退職予定、\*\*：平成28年3月退職予定)

分野	指導教員名及び指導プログラム	研 究 テ ー マ
理工系	青木 徹	CS 放射線エネルギースペクトル画像からの有意情報抽出
		IS 高速フォトンカウンティング信号情報処理
		高エネルギー放射線の医療・セキュリティー応用
理工系	新谷 誠	CS 距離正則グラフの特徴付け
		IS 組合せデザインの構成・分類
理工系	大島 純	CS マルチメディア学習環境における学習過程の分析
		IS CSCLを利用した学習環境のデザイン
		自己説明活動に基づいた自発的学習過程の促進
理工系	太田 剛	CS プログラム実行過程の直感的表示法
		IS ベクトル時間を用いた分散プログラム用デバッガ
		プログラム構造に対するスライス計算アルゴリズムの特性
理工系	梶 博行**	CS コーパスからの言語知識の獲得
		IS 質問応答、テキストマイニング等の自然言語処理応用
		多言語（日・中・英）機械翻訳
理工系	カメン・カネフ	CS 対話型コンピュータグラフィックス
		IS コンピュータアニメーションと可視化
		ID ゲームシミュレーションとダイナミックモーションインターフェイス
理工系	木谷友哉	CS 高度交通システム（ITS）に関する研究
		IS 二輪車センシングシステムの基盤技術に関する研究と開発
		モバイルアドホックネットワークにおける通信プロトコルの研究
理工系	桐山伸也	CS 適応型音声インタフェースを基軸とする音環境デザイン
		IS マルチモーダル音声行動コーパスによる人間行動理解コンテンツ
		コモンセンスコンピューティング
理工系	小暮 悟	CS プログラミング学習者・講師支援システム
		IS 日本語対話システム
		数学的モデルを利用した音声対話制御
理工系	小西達裕	CS ITS・ILE統合型教育支援システムの構築
		IS 教師支援のためのプログラム半自動評価システムの構築
		GUI上での対象世界の直感的操作に基づくアルゴリズム・プログラム学習環境の構築
		日本語対話訓練システムの構築
理工系	酒井三四郎	CS プログラミング教育支援システム
		IS 協調学習支援
		プログラム理解支援のための効果的なスライス表示法
		オブジェクトの動作履歴を用いたデバッグ手法

分野	指導教員名及び指導プログラム	研 究 テ ー マ	
理工系	佐治 斉	CS	リモートセンシングと画像処理
			衛星・航空画像を用いた地震災害時救助支援
			ITS（高度道路交通システム）
理工系	塩見彰睦	CS	画像処理システム
			教育用マイクロプロセッサ
			特定用途向けプロセッサの最適化設計
理工系	白井靖人	CS	高度利用データベースの構成法
		IS	情報可視化の方法論
理工系	杉浦彰彦	CS	マルチメディア情報の圧縮符号化と高能率伝送
		IS	マルチメディアコンテンツ制作技術の高度化
			マルチメディア情報通信技術の医療・教育応用
理工系	竹内勇剛	CS	認知科学的アプローチに基づく社会的なHuman-Agent-Interaction
		IS	人間のコミュニケーションにおける認知構造の解明
			実世界指向なインタラクションシステムの設計・開発
理工系	竹林洋一	CS	マルチモーダルナレッジと教育・福祉への応用
		IS	Wearableコンピュータ上の音声ヒューマンインタラクション
		ID	知的環境センシングによるユビキタス社会のデザイン
			EmotionとIntelligence-安心・安全・豊かさを考える
理工系	中谷広正	CS	動画・静止画からの人物検出
			動画像からのシーン記述
			貼り合わせ画像の濃度補正
			階層的対応づけによる複数画像の貼り合わせ
理工系	西垣正勝	CS	次世代型ユーザ認証
		IS	バイオメトリクスセキュリティ
			コンテンツの不正コピー防止 コンピュータウィルスの検知
理工系	福田直樹	CS	Webとエージェント技術の応用システム
		IS	メカニズムデザインおよびオークションの基礎理論と応用
			セマンティックWebとオントロジー技術の基礎理論と応用
理工系	峰野博史	CS	省電力無線センサネットワークプロトコル
		IS	センサネットワーク応用システム（エネルギー管理、植物工場）
			コンテキストウェアネットワークシステム
			コンシューマデバイス&システム
理工系	宮崎佳典	CS	特殊関数などの数値シミュレーション
		IS	e-Learningアプリケーション
			数学や英語学習に関連した応用ツール
理工系	横山昌平	CS	Webブラウザによる革新的な情報可視化技術の創造
		IS	ソーシャルネットワーク上の集合知の発見と可視化
			宇宙科学データの高度利用
社会系	赤尾晃一	IS	情報ソフト産業（マスメディアを含む）の産業構造分析
		ID	放送・電気通信法制の比較研究
			マス・コミュニケーションの内容分析
社会系	漁田武雄**	CS	人間の記憶機構の実験心理学的解明
		IS	
		ID	脱文脈化と知識形成過程の実験心理学的解明

分野	指導教員名及び 指導プログラム	研 究 テ ー マ
社会系	岩崎一孝	IS 乾燥・半乾燥地域の環境変動の分析
		ID 地理情報システム論
社会系	Wilkinson, Valerie A.	CS General System Theory
		IS Human Communication in Complex System
社会系	大島律子	IS コンピュータを利用した協調学習支援環境の構築と評価
		ID コラボレーションと学習マネジメント支援
社会系	岡田安功	IS 情報公開法、個人情報保護法等の情報管理に関する法制度
		ID プライバシー保護、セキュリティ保障に関する法制度
		ID 情報法への社会情報学的アプローチ
		ID 憲法と行政法への社会情報学的アプローチ
社会系	金 明美	ID 日本及び韓国の地域社会に関する文化人類学的分析(フィールドワークとエスノグラフィー的手法)
		ID コミュニティ形成と身体文化
		ID エスニシティと多文化共生
社会系	近藤 真	IS 統語構造の派生の経済性
		ID 統語構造と意味の関係
社会系	笹原 恵	ID ジェンダーの社会的形成
		ID 非正規労働者と労働組合
		ID コミュニティと地域構造
社会系	佐藤哲也	IS 電子メディアにおける世論の計測技術とその応用
		ID コンテンツ共有システムの社会的影響
社会系	Sheftall, Mordecai G.	ID メディア、イデオロギー、文化論
		ID 社会心理学(identityなど)
		ID 近現代日本史・社会
社会系	杉山 茂	ID 米・中南米関係を中心とする国際関係史
		ID 20世紀世界の人の移動と記憶
社会系	杉山岳弘	IS コミュニケーション活性化とコンテンツのデザイン
		ID 博物館・動物園における学習プログラムのデザイン
		ID 画像処理基礎・映像メディア応用・Webシステム設計
社会系	高橋 晃	IS 人間の記憶と確信の関連
		ID ユーザビリティを向上させる開発手法
社会系	高松良幸	ID 美術作品を中心とした文化遺産のマネジメント
		ID 美術作品等を題材としたコンテンツの企画立案
		ID ミュージアム・マネジメントーコレクション・マネジメントを中心に
社会系	田中宏和	IS 経営シミュレータを用いた意思決定支援の方法論
		ID 中小企業の情報化の方法論
		ID 企業の変革と組織的知識創造の方法論
社会系	中 正樹	ID 現代社会におけるマスメディアの社会的機能
		ID ジャーナリズムの理念および倫理
		ID 日本のジャーナリズムにおける客観報道の概念
社会系	西原 純	ID 変革情報の空間的拡散過程に関するシミュレーション分析
		ID 地理情報システムを利用した都市内部における住民の住み分け現象分析
		ID 平成の市町村合併と電子自治体

分野	指導教員名及び 指導プログラム		研 究 テ ー マ
社会系	許山秀樹	ID	東アジアを中心とした書誌学
			詩跡（歌枕）に関する総合的研究
社会系	藤井史朗**	ID	情報社会の特性に関する社会学的分析
			社会学的人間論の研究
			情報サービス業と情報職業に関する研究
社会系	堀内裕晃	IS ID	言語コミュニケーションへの言語知識の活用
			言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの関連性
			英語学習支援プログラムの構築
社会系	森野聡子	IS ID	メディア記号論（記号による現実の再現・再提示の研究）
			メディア・リテラシー（映画・TV・広告等の分析、情報化時代におけるメディア教育のプログラム作成）
			オルタナティヴ・メディア（市民生成型メディア、文化的少数者の発信手段としてのメディア活用）
社会系	八柳良次郎*	IS ID	経済理論
			比較経済
			eコマース
社会系	山田文康*	IS ID	多変量データ解析、特に質的データの解析法に関する研究
			アンケートにおける不良回答の識別
			文系学生のための統計学習支援システム
社会系	湯浦克彦	CS IS ID	学生の学習・課外活動のための情報共有システム
			マーケティングとデータ解析に基づく情報サービス設計
			コミュニティ、組織目標、情報システムのマネジメント
社会系	吉田 寛	IS ID	情報社会ガバナンス
			情報技術社会における哲学的・倫理的諸問題の解明
			言語の意味と理解に関する分析哲学的研究

## IV 大学院入試情報の提供

### 1.入試情報の開示

当該年度の修士課程における受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を、平成25年9月までに実施された入試については平成25年11月15日(金)～12月16日(月)の間に、また、平成25年10月から平成26年3月までに実施された入試については平成26年4月15日(火)～5月15日(木)の間に受け付けます。詳細は、本学学務部教務課大学院係までお問い合わせください。

静岡大学学務部教務課大学院係 〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836  
電話：054-238-4332

### 2.入試問題の閲覧

大学院の過去問題については、情報学研究科事務窓口（情報学部学務係）及び入試情報閲覧室（静岡キャンパス共通教育棟A棟3階）で閲覧することができます。

## V 個人情報取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報については、
  - ① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、
  - ② 合格発表、
  - ③ 入学手続き業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

## VI 障害等のある入学志願者の受験特別措置について

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に本研究科と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

申請の結果は、決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	原則として出願の1か月前まで
申請の方法	『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断

	書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者、等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒432-8011 静岡県浜松市中区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部学務係 電話：053-478-1510 FAX：053-478-1513

#### 注意

- (1) 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、80円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- (2) 電話による照会及び『大学院受験特別措置申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日は受け付けませんので注意してください。

## Ⅶ その他の注意事項

一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

#### (1) 検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった場合

#### (2) 返還する検定料の金額

志願者本人の請求により、二重払い分又は全額を返還します。ただし、返還にかかる振込手数料は請求者の負担とします。

#### (3) 検定料の返還請求方法

上記の①又は②に該当する場合は、下記の次頁の様式にならい検定料返還請求書（A4版）を作成し、「郵便振替払込受付証明書」を添付して、各試験日の10日前までに、静岡大学情報学部学務係（〒432-8011静岡県浜松市中区城北三丁目5-1）まで郵送してください。

③に該当する場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、郵送してください。



静岡大学大学院入学検定料返還請求書

平成 年 月 日

静岡大学大学院情報学研究科 御中

下記の理由により入学検定料の返還請求をします。

記

1. 返還請求の理由

2. 入試区分（一般、社会人、外国人留学生等）

3. 氏名（フリガナ）

4. 現住所（フリガナ）

5. 連絡先電話番号 — —

6. 返還請求額 ¥30,000 円

7. 返還金振込先

金融機関名 銀行（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）

支店名 支店

預金種別 普通・当座（○をつける）

口座番号

口座名義人（フリガナ）

・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

※返還にかかる振込手数料は請求者の負担とします。

上記とは別の特別措置

**東日本大震災により被災した入学志願者に係る入学検定料の特別措置**

東日本大震災により被災した志願者の入学検定料について、志願者からの返還請求に基づき入学検定料の全額を返還します。

詳しくは、「静岡大学 入学志願者の入学検定料の特別措置について」をご覧ください。

([http://www.shizuoka.ac.jp/th\\_earthquake/eq\\_examin2013.html](http://www.shizuoka.ac.jp/th_earthquake/eq_examin2013.html))